

鳥獣被害防止緊急捕獲等対策の評価報告(平成28年度報告)

高松市

1 被害防止計画の作成数、特徴等

イノシシ、アライグマ・ハクビシン、サル、カワウ、カラスを対象としており、侵入防止柵の設置や放任果樹の伐採等の環境管理の取組を実施する。  
また、捕獲については、平成27年度に設置した被害防止対策実施隊による有害鳥獣捕獲を積極的に行っていくことになっている。

2 事業効果の発現状況

地域の体制整備、被害防止効果、捕獲状況、人材育成状況、耕作放棄地の解消等様々な角度から記載する。  
協議会を中心に関係機関と地元農業者等が連携して被害対策への取り組みが進められている。狩猟免許の取得も進んでおり、侵入防止柵の設置とこれを活用した捕獲も始まっている。

3 被害防止計画の目標達成状況

被害防止計画の目標の達成状況を記載する。  
個別の項目では未達となったものもあるが、全体では目標を達成できた。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価
										被害金額(万円)				被害面積(a)				
										現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値	達成率	
高松市 (高松市鳥獣対策協議会)	高松市	H26年度	イノシシ	有害捕獲	403頭	—	—	—	イノシシの捕獲頭数は、H25年度は258頭であったがH26年度は56%増の403頭となった。捕獲頭数は増加したものの、被害金額及び被害面積は大幅な減少は見られなかった。	3,354	2,347	1,565	177.7%	2517	1761	1415	145.8%	捕獲頭数が大幅に増えたが、被害量は減少していない。今後も侵入防護柵の整備や、狩猟免許所有者の増加を図り、農地をイノシシから防御するとともに捕獲体制を強化していく。
			サル		12頭	—	—	—		0	42	5	11.9%	0	10	3	30.0%	
			アライグマ	—	—	—	—	—		170	170	400	0.0%	45	45	131	0.0%	
			カワウ	—	—	—	—	—		3,336	2,314	4,417	0.0%	—	—	—	—	
			カラス	—	—	—	—	—		501	350	377	82.1%	201	140	143	95.1%	
			シカ	—	—	—	—	—		—	0	0	0	—	0	0	0	
									7,361	5,223	6,764	27.9%	2,763	1,956	1,692	132.7%		

注:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。

第三者の意見

コメント

イノシシ、カラスについては、被害低減が図られており、引き続き対策を継続して欲しい。  
一方、アライグマ・ハクビシン、サル、カワウについては被害が拡大していることから捕獲に加え、環境管理及び侵入防止にも取り組み、総合的な対策の推進により被害低減に努めてほしい。